

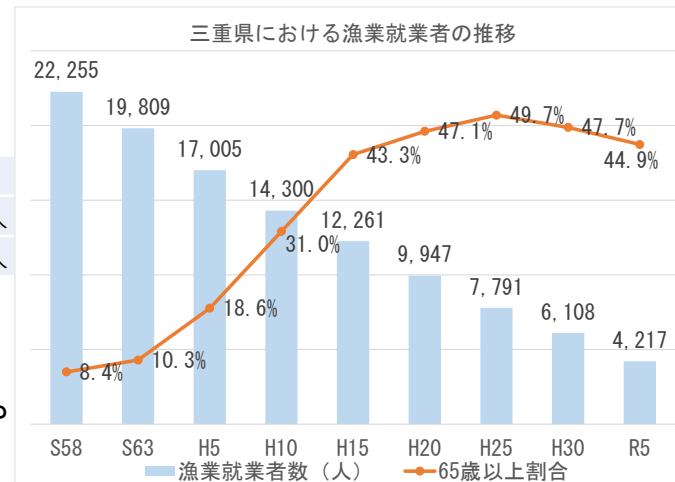
目的

新規就業者等の受入体制整備や漁業現場の労働環境改善の支援、水福連携のマッチング促進等に取り組み、多様な担い手の就業を促進する。

現状と必要性

- ・ 漁業就業者、新規就業者が減少
- ・ 漁村地域において、宿泊施設や賃貸住宅が減少し、雇用したくても住んでもらう家がない
- ・ 漁労作業の負担軽減や環境衛生施設の整備などの労働環境の改善が必要
- ・ 事業者からの水福連携に関する相談が少なく、マッチング事例が南部地域に偏っているため、水福連携の認知度向上と効率的なマッチング支援を行う必要あり
- ・ 漁業現場における外国人雇用の拡大に向け、外国人雇用にかかる制度の理解促進や優良事例の周知に取り組む必要あり

みえ元気プラン		R3	R4	R5
新規就業者数	目標	46人	48人	50人
(45歳未満)	実績	40人	36人	30人



事業内容

①受入環境整備支援事業

＜空き家改修等受入体制整備支援＞

漁業や漁業経営体が行う、空き家の改修等の研修生や新規就業者の受入体制の整備を補助
(補助率1/2・補助上限2,000千円)



空き家の改修

＜労働環境改善支援＞

漁協や漁業経営体が行う、労働環境の改善に必要な機械・設備(トイレ・シャワーなどの環境衛生施設、省力化・省人化設備等)の導入を補助
(補助率1/2・補助上限1,500千円)



シャワーの設置



漁船のインターネット環境整備

②多様な担い手の確保推進事業

- ・ 水福連携や外国人雇用の研修会等の開催
- ・ 水福連携作業のマニュアル動画の作成と活用
- ・ 水福連携の対象を社会的に支援が必要な者にも拡大



マニュアル動画の例

事業の効果

高齢者、障がい者、女性、外国人を含む、多様な担い手の本県水産業への就業・定着につながります。